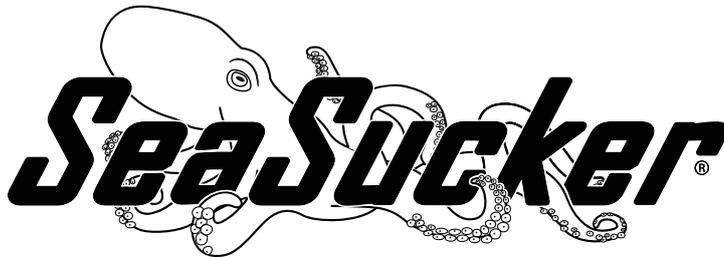
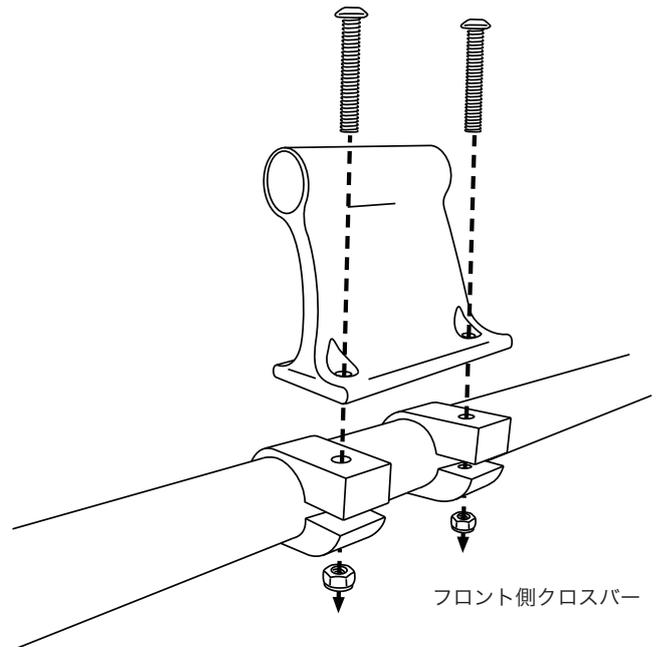


Monkey Bars Bike Carrier

取付方法

- 1) 以下の図に示すように、ハスクフォーク マウントとフォーク マウント クランプをフロントクロスバーに取り付けます。ハスク フォークマウントにある SeaSucker のロゴが車両の正面を向くようにしてください。
- 2) 付属の 5/32 六角レンチを使用して、2つのフォークマウントクランプをクロスバーに締めます。力を加えてもフォークマウントがクロスバー上で回転しなくなるまで締めてください。
- 3) 下図に示すように、後輪トレイを後部クロスバーに取り付けます。
- 4) 再び 5/32 六角レンチを使用して、手で押してもクランプと後輪トレイがクロスバー上で回転しなくなるまでクランプを締めます。



Designed and manufactured by:
SeaSucker, LLC

Bradenton, Florida
www.SeaSucker.com



販売元
株式会社リガーマリンエンジニアリング
〒511-0283 三重県いなべ市大安町南金井 1732 番地
WEB : <http://www.regar.co.jp>
TEL : regar@regar-m.jp

並行輸入品や弊社以外からご購入された製品に関しまして、
弊社は一切責任を負いませんのでご注意ください。
お問い合わせの際は、商品に同梱されております
販売証明書を必ずご用意ください。

ハスクプラグに関して

様々なサイズの手スクプラグを手スクフォーク マウントに設置することで、幅広い自転車のハブサイズに適応します。手スクプラグのサイズ表は以下の通りです。

		穴径 Diameter of Hole			
		9mm	12mm	15mm	20mm
幅の 手スクフォークの Distance Between Forks	100mm	Black	Silver	Blue	Red
	110mm			Gold	Green

ご自身の自転車のハブの幅及び軸の径をご確認いただき、適切なプラグをご選択ください。

マウントへの設置方法

・小型のプラグの場合

プラグを、手スクベースに左右から押し込みます。プラグの O リングにより、プラグが所定の位置に保持されます。この時少量の潤滑油を O リングに使用すると、よりスムーズにプラグを出し入れすることが出来ます。

・大型のプラグの場合

20 x100mm および 20 x110mm プラグは、手スクベースの外側にフィットします。プラグを溝を下側にしてトップチューブに左右から取り付け、側面に合わせます。完全に装着されたら、各プラグの止めネジを 2 mm の六角レンチで締めます。

9 x100mm のクイックリリースプラグを使用している場合は、プラグを取り付けた後、プラグにクイックリリースを挿入します。クイックリリースワッシャーの広い方の面が常にカムレバーに接触するように注意してください。

調整ナットをスキューアにねじ込みます。

自転車に合わせて調整する方法については、以下を参照してください。

クイックリリースは左右どちらの側からもプラグに通すことができます。

さまざまなハブ サイズのプラグは、オンラインで購入できます。

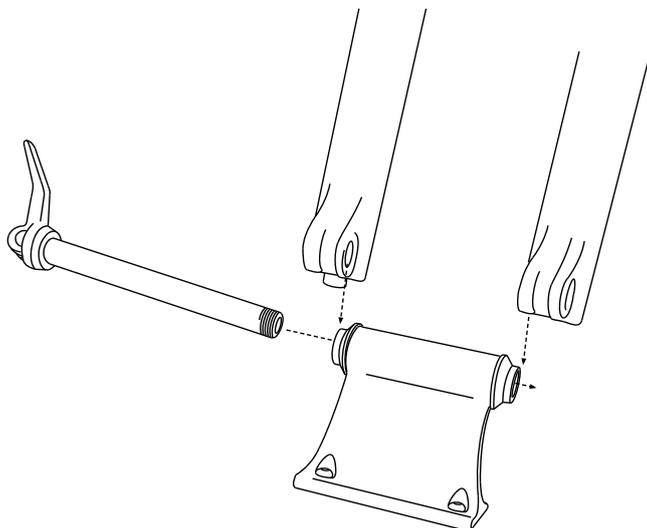
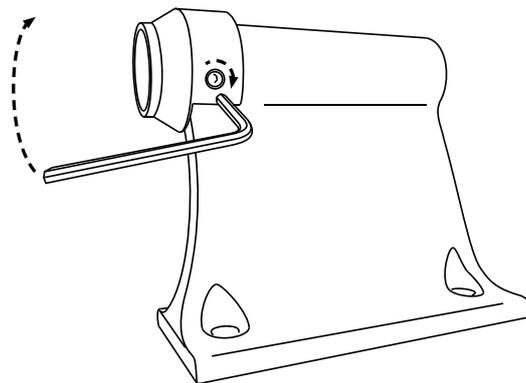
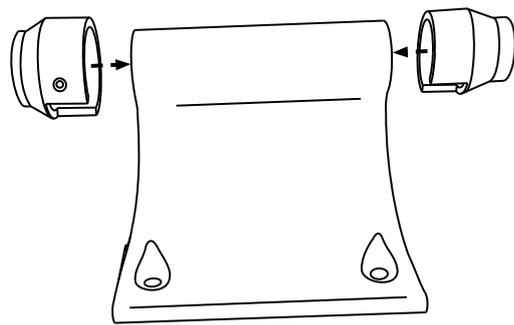
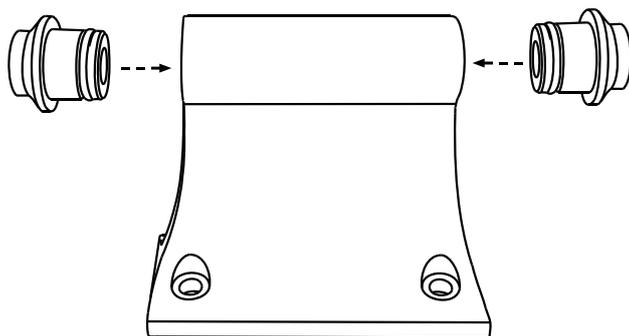
※QR コード

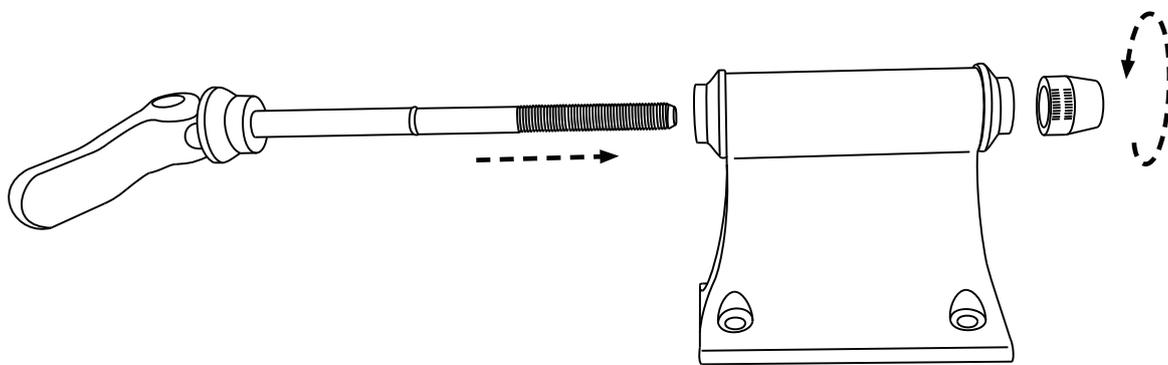
スルーアクスルを使用する場合

- 1) 自転車から前輪を取り外します。
- 2) バイクのフォークを手スクに置き、フォークとフォークマウントの車軸穴を合わせます。
- 3) ホイールの車軸を穴に押し込み、ねじのないフォークを通り、ねじのついたフォークで終了します。
- 4) レバーを回してフォークの反対側にねじ込み、レバーを閉じます。

車軸の取り付けは、前輪を再取り付けする際と同様です。

詳細については、ホイールまたはハブのメーカーの説明書を参照してください。





ハスククイックリリースを使用する場合

ラックに車両を取り付ける前に、クイックリリースの調整を行います。

- 1) SeaSucker ラックを床に置きます。この時パッドへの偶発的な損傷を避けるために、真空パッドに保護カバーは外しません。
- 2) フォーク マウントのクイック リリースを開きます。カムレバーを開き、調整ナットを反時計回りに回して緩め、ほぼスキューアの終わりまで緩めます。
- 3) 自転車から前輪を取り外します。
- 4) 自転車のフォークドロップアウトをスキューアに差し込みます。QR ワッシャーの広い側がカム レバーの隣にあることを確認します。自転車が自力でバランスをとれない場合は、複数名で保持してください。
- 5) カムレバーをフォークマウントに向かって押して、スキューアをフォークマウントの本体にできるだけ深く押し込みます。(この時はまだオープンポジションです)。

重要: カム レバー、QR ワッシャー、およびフォークの脚は、間に隙間がないように、フォーク マウントの本体に対してしっかりと押し付ける必要があります。必要に応じて手のひらでカムレバーを叩いて完全に貫通させます。次に、調整ナットを時計回りに回して、フォークの反対側に指で締めます。

- 6) 調整ナットを 6 回転緩めます。位置と回転数を追跡するために、何らかの方法でナットに印を付けると便利です。(この 6 回転がカムレバーを閉じたときに適切にフォークを固定できる位置になります)

- 7) カムレバーを 180 度スイングさせクローズポジションにします。90 度のスイングを過ぎたところで、カムレバーが締め始めるのを感じるはずですが、カムレバーを完全に閉じるには、しっかりと力を加える必要があります。確実に閉めてください。

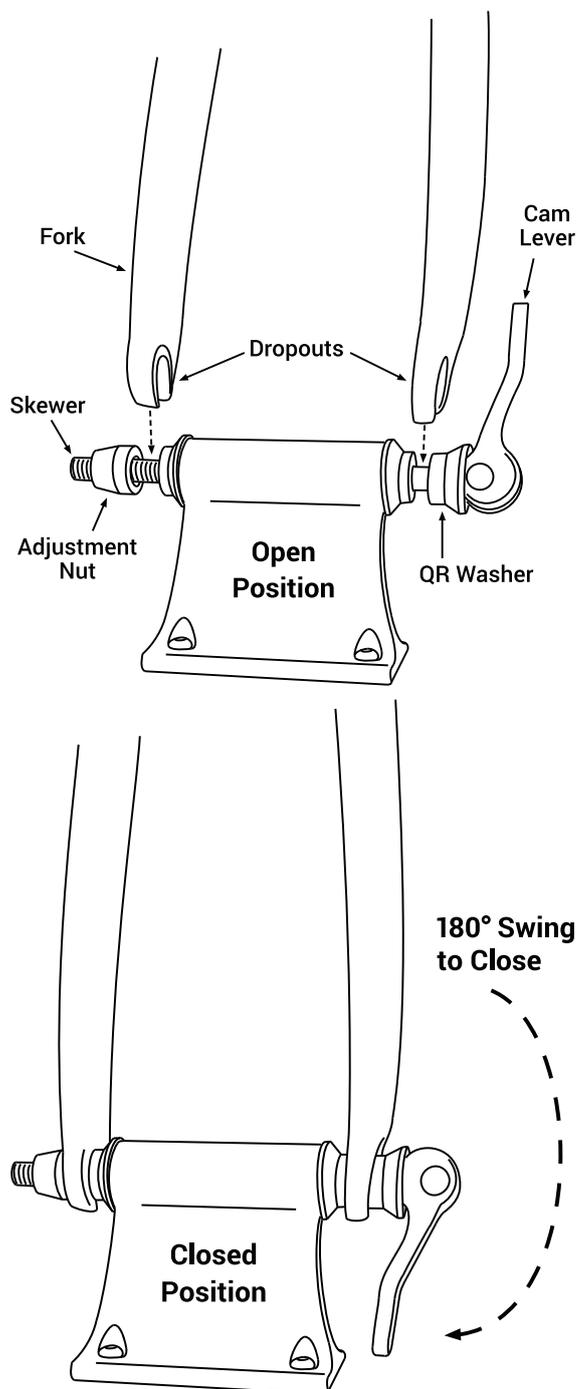
180 度閉じていない場合、またはカムレバーやフォークが緩んでいる場合は手順 5 に戻り、もう一度やり直してください。

9mm QR フォーク マウントには大きなカムが付いているため、自転車をラックに取り付けたりラックから取り外したりするたびに調整ナットを緩めたり締めたりする必要はおそらくありません。

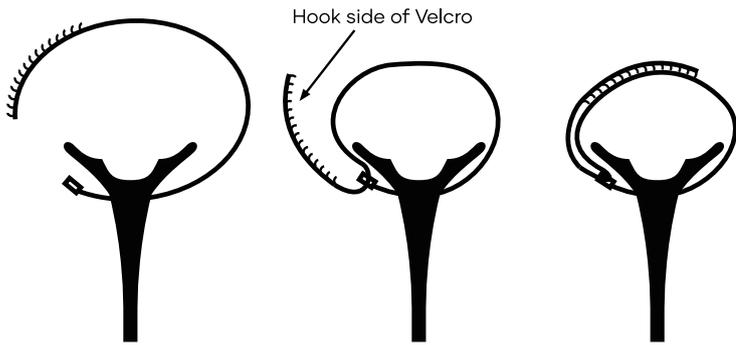
フォークをつかみ、引っ張ったり押したりして、フォークマウントがしっかりと固定されているかをテストします。フォークがマウント内で何らかの形で動く場合は、調整ナットを調整し、フォークを再度クランプしてフォーク マウントを締める必要があります。ハスクベース自体がラック上で動く場合は、ラックの下側のナットを締め直してください。

クランクアームストラップの使用

オレンジ色の Velcro® ストラップをクランク アームとチェーンステーに巻き付けることで、ペダルが回転し車の屋根に接触するのを防ぎます。



後輪トレイとストラップの使用



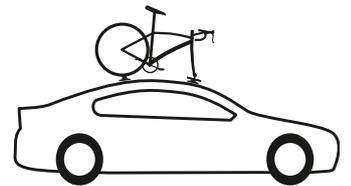
- 1) 後輪トレイを、フロントクロスバーのフォークマウントアタッチメントに合わせてリアクロスバーに配置します。リアタイヤはトレイの溝に収まります。細いタイヤは中央の溝に、太いタイヤは外側のウィングに収まります。
- 2) 左図のように付属のベルクロストラップを使用してホイールを固定します。
- 3) ストラップを完全に外し、ストラップのフック側をリムに巻き付けてから、ストラップの反対側にあるプラスチックのリングに通します。
- 4) ストラップがリムにぴったり合うまでストラップを後ろに引っ張り、ベルクロのフック側をループ側に固定します。太いホイールとタイヤ、または非常に深いリムを備えたロードバイクの場合は、追加のベルクロストリップをフック側に取り付けます。
- 5) ベルクロを使用してストラップの届く範囲を延長します。必要に応じて、余分なベルクロストリップをハサミで切り取ることができます。

自転車とラックをロックする

SeaSucker 自転車ラックは車方取り外せる製品のため、自転車やラックを放置する場合は注意が必要です。ラックを使用しないときは、ラックを取り外して自宅または車内に適切に保管することをお勧めします。SeaSucker のケーブルアンカーを使用して、自転車とラックを車にロックすることもできます。ケーブルアンカーは、ケーブルタイプのロックに頑丈なスチール製の取り付けポイントを提供します。

重要な警告事項

- ・ 自転車を後ろ向き、横向き、または斜めに取り付けないでください。
- ・ バン、SUV、またはその他のハッチバックの後部に取り付ける場合は、チェーンリングに適切なクリアランスがあることを確認してください。
- ・ 制限速度を超えないようにしてください。
- ・ SeaSucker のポンプにあるインジケータバンドが露出している場合は使用しないでください。
- ・ ラックのすべてのマウントが完全に吸着している状態を少なくとも 4 時間維持できない場合は、使用しないでください。
- ・ 取り付け前に取り付け面を清掃してください。
- ・ 取り付け前に真空パッドをきれいに清掃してください。
- ・ SeaSuckers のポンプを定期的に洗浄し、注油してください。
- ・ ネジ、ナット、およびボルトを定期的に検査し、必要に応じて締め直してください。
- ・ 45 ポンド (20kg) を超える自転車には使用しないでください。
- ・ 自転車を輸送する前に、フォークマウントが完全に固定されていることを確認してください。
- ・ 使用しないときは、真空パッドがプロテクトカバーに完全に収まっていることを確認してください。
- ・ 十分なスペースを確保せずに、屋根に自転車を載せた状態でガレージに車を駐車しようとしないでください。



所有者の責任事項

- ・ このユーザーマニュアルの指示を読み、それに従う必要があります。
- ・ ラックを車両に正しく取り付け、使用前に毎回確認し、必要なメンテナンスを行う必要があります。
- ・ ラックを車両に正しく取り付けることは非常に重要であり、お客様のみが管理できます。
- ・ 自転車をラックに正しく取り付け、ライト、ポンプ、水筒、コンピューター、バスケット、チャイルドシートなどの緩んだ部品を自転車から取り外してください。
- ・ 自転車をラックに正しく取り付けることは非常に重要であり、お客様のみが管理できます。
- ・ 車両に乗り降りするときは、すべての SeaSucker のインジケータバンドを検査する必要があります。
- ・ ラックがフルパワーかどうかは一目でわかります。ラックのポンプが完全に吸着しているかを確認し、インジケータバンドが見える場合は、ラックを使用する前に SeaSucker を再度ポンプする必要があります。
- ・ 少なくとも 4 時間真空を保持しない SeaSucker 真空マウントはクリーニング、修理、または交換が必要になる場合があります。ラックには予備の SeaSucker 真空ポンプが付属しています。誤ってラックを損傷した場合に備えて、ラックと一緒に保管してください。
- ・ 掲示されているすべての法定速度制限と交通状況に従わなければなりません。
- ・ 運転スタイルと速度を、道路状況、気象条件、SeaSucker ラックの負荷に合わせて調整する必要があります。
- ・ SeaSucker は取り外すことが前提になっている製品であり、これらが守られない場合、走行中にラックが脱落し重大な事故につながる可能性があります。日本の法令及び道路交通法に準じて、上記内容を必ず順守してください。